



請願審査、決議
の動画はこちら→

請願審査

令和5年請願第1号

保育所等の職員配置基準改善等を求める意見書の提出について

審査の経過・結果

本請願は、適切な職員配置基準の見直しと処遇改善について、国に意見書の提出を求めるものです。

請願者・紹介議員へのヒアリング結果によると、子どもの尊い命が失われる事態が生じているのは人員不足が要因である。当市では全ての教育・保育施設が国の定める配置基準を満たしているが、職員不足により延長保育を望む保護者の要望には対応できていない。委員からは、学童クラブの職員に支給している時間給では生計を立てることができないなどの声も聴いている。との意見があげられ、全会一致で採択すべきものとして決しました。

↓ 起立全員で採択

令和6年請願第1号

国にイスラエル・ハマスの軍事衝突の即時停戦に向けた外交努力を求める意見書の提出について

審査の経過・結果

本請願は、イスラエルとハマスの軍事衝突の即時停戦に向けて外交努力を求める意見書を国に提出することを求めるものです。

紹介議員へのヒアリングや委員会内の協議によって、イスラエルとハマスの双方において、いかなる理由があっても、一般市民や子どもたちを標的とした非人道的行為は許容されないことを確認しました。我が国は、友好的で平等な国家間関係から成る国際秩序の基盤とするために法の支配を強調しており、外交政策の柱の一つとして採択すべきものとして決しました。

↓ 起立全員で採択

決議

令和5年議案第1号

村田信之議員に対する問責決議

提案理由

村田信之議員が、3・11 祈りと絆「白菊」実行委員会のクラウドファンディングに賛同して寄付を行い、自らの意思で自分の氏名の新聞掲載を望んだ。

このことが、令和6年3月12日の新聞記事で公職選挙法に抵触する可能性がある」と報道された。

釜石市議会基本条例第28条において「議員は、市民の負託に応えるため、自らに高い倫理的義務が課せられていて、これを自覚し、市民の代表として良心と責任感を持って議員の品位を保持し、識見を養うよう努めなければならない。」と定めている。

村田信之議員の行為は、市民の負託を得て、日々市民の模範となる行動が求められている釜石市議会議員

として、市民の信頼を大きく損なうものである。

よって、釜石市議会は、議会全体の信頼と秩序を保持するため、村田信之議員に対して猛省を求め、問責するものである。

反対討論

同議案への反対に際して、今回の事犯について全面的に肯定をするものではない。一般質問の折に公に謝罪したこと、市議会に対して会派代表者協議会の場において謝罪があり、各会派代表者がそれを受け入れたこと、新聞報道によって一定の社会的制裁を受けたと判断されること、議会活動を市民に報告する委員会の長である立場の議員が公職選挙法に触れる恐れがある行為を行ったことに対し、引責辞任する姿勢を示していることなどを鑑み、不祥事案については議長からの厳重注意とすべきと会派代表者協議会において判断された。よって、過度な問責や規則の範疇を越えて

罰則を与えることを目的とする今回の問責決議案に反対する。

賛成討論

釜石市議会は釜石市民に開かれていなくてはならない。村田信之市議による「公職選挙法抵触の恐れ報道」は釜石市議会の信用を貶める結果を招いた。もはや村田市議ひとりだけの問題ではない。釜石市議会全体で失った信用を回復させるため心血を集中すべき事態であり、問責決議をもって釜石市民に対する議会の明確な意思表示を行い、健全な二元代表制に早く戻すべきだ。

それには本人の猛省が必須条件であり、議会としてしっかりと市民に対し「けじめ」をつける時だ。当局の監視機能を担う議会として今こそ自ら襟を正すべきだ。

市民からの負託により一層、応えられる市議会をもに構築して行くべきだ。

↓ 起立少数で否決